

西浦みらい工房 2021.11.25

～西浦の学校と地域の未来をデザインする「子どもたちの笑顔と未来のために」～

(2) 地区特性を生かした 交流・活動

- ・西浦地区の特性を活かした教室などを地域住民と学校が合同開催することで、交流の活性化と地区への愛着心を育む。



地域開放する家庭科室イメージ

(3) 児童クラブと地域サークルの交流

- ・公民館が実施する文化サークルに児童クラブが参加することで、多世代交流を充実させる。

○活動の拡大・充実

(1) 特別教室・体育館の地域開放

- ・特別教室（家庭科室や図工室など）を地域住民に開放することにより地域活動の幅が広がる。
- ・公民館と体育館を合築施設にすることで利便性が向上し、地域活動の充実を図る。

(2) 図書室の地域開放

- ・図書室を地域開放することで地域住民が集まる拠点とし、高齢者が児童へ読み聞かせをするなど活動の幅が広がる。



地域開放する図書室のイメージ

学校では、よりよいCS（コミュニティー・スクール）をめざし、8月に学校運営協議会が立ち上がりました。地域のみなさんの代表の方といっしょに「どんな西浦の子どもたちに育てほしいのか」を見つめはじめました。そして、地域と学校をつなぐパイプ役が、この「西浦みらい工房（地域学校協働本部）」です。この活動は、これからずっと続くもので、新しい校舎の一角にも、地域と学校の「交流室」として準備されています。

新しい時代の始まりです。新しい学校をみなさんと一緒に作っていきましょう。「学校と地域のために何ができるだろう？」どうぞ、「西浦の子どもたちの笑顔と未来のために」「未来の西浦のために」地域のみなさまの知恵と力をお貸しください。

あなたもいっしょに西浦の子どもたちを育てませんか？



▲小学校の体育館の舞台の緞帳。長年の使用によって、裾がぼつれ、垂れ下がって残念な姿になっていました。ミシンの授業のサポートに入ってくださったおふたりが、とてもいねいに修理してくださいました。



▲運動会を目前に控え、草刈りのボランティアさんが3名登場。運動場ばかりか、桜の下の石垣や防災倉庫前の花壇など、きれいさっぱり刈り取ってくださいました。気持ちよく運動会が迎えられました。

◀秋休み明けから、絵本の読み語りが少しずつ始まりました。先日は、公民館で活躍する西浦紙芝居保存会の方々による「稲村ケ崎」の紙芝居を読んでいただきました。西浦の昔話もこうして子どもたちに伝わります！